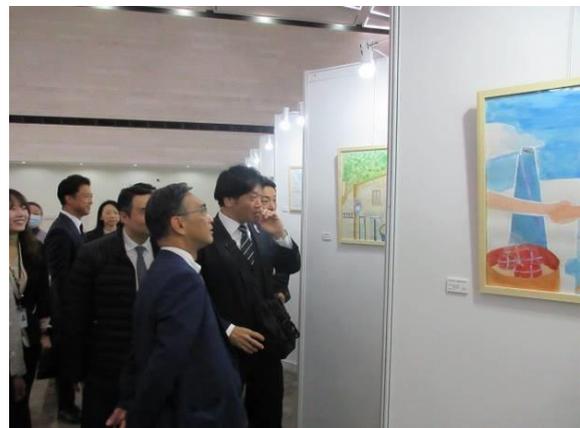


12月6日（金）

青少年絵画交流展・世博会博物館視察

世博会博物館で開催されている大阪市と上海市の友好都市提携 50 周年を記念した青少年絵画交流展を視察した。この交流展は、大阪市と上海市の小中学生が描いた作品を展示しており、両市の風景や文化を描くことを通じて、若い世代の交流を深めることを目的としている。展示されている作品の中には、来年開催予定の大阪・関西万博の公式キャラクター「ミyakumiyak」の絵画もあり、訪れる人々に万博への期待感を抱かせるものであった。このような交流展が両市の若い世代の相互理解を促進し、次世代の友好関係を築くための人材育成に貢献することが期待される。



青少年絵画交流展にて

青少年絵画交流展の視察後、世博会博物館の劉文涛館長の案内で万博の歴史を展示するフロアを視察した。1851年のロンドンでの初開催から2020年のドバイ万博に至るまで、万博が時代とともに進化し続け、各時代の万博がその時代の技術革新や社会的課題に対応し、未来へのビジョンを示してきたことが詳しく展示されていた。産業革命以降、万博がどのように世界の産業や技術、文化に影響を与えてきたのかだけでなく、国際的な交流や協力を推進する重要なプラットフォームとして各国を結びつけ、平和と友好に貢献してきたことも実感することができた。

1970年大阪万博について詳しい展示がされていたほか、2025大阪・関西万博に関する展示コーナーも設置され、そこには公式キャラクター「ミyakumiyak」の大きな絵画パネルが展示されているなど、2025大阪・関西万博に対する期待をふくらませる展示となっていた。

世博会博物館の視察を通じて、大阪市と上海市の友好関係がさらに強化されることを感じるとともに、万博の持つ歴史的意義や未来への影響力を再確認することができた。



世博会博物館視察の様子



2025 大阪・関西万博に関する展示



ミヤクミヤクの絵画パネルの前で

おわりに

友好都市提携 50 周年を記念して上海市を訪問した今回の出張は、3 日間という短い滞在期間にもかかわらず、大阪・上海両市の関係者のご尽力により上海市長への親善訪問や歓迎夕食会への参加、上海市における諸施策の視察を通じて多くの方々と交流を深め、有意義な時間を過ごすことができた。

上海市人民代表大会への親善訪問では、両市のさらなる交流と協力を確認し、今後の発展に向けた基盤を築くことができた。

また、先進事例として自動運転車両の取り組みについて学ぶ機会を得たほか、友好都市提携 50 周年を記念する写真展や絵画交流展、日中平和友好コンサートなどにも参加し、上海市で行われている交流事業を体験する貴重な機会となった。

万博 PR に関しては、各視察先での挨拶や意見交換を通じて万博を紹介し、現地での認知促進と来場促進を行った。

最後に、今回の出張に際しお世話になった両市の関係者の皆様に心から感謝の意を表す。